



**年度末「つくし月間」みなさん、お疲れ様でした！
2025年度「仲間ふやし」純増の勢いを確信に、
新年度も力を合わせてともにがんばりましょう！**

手配りを通して組合員と顔の見える関係を大切にしたい



防府支部～特集



2月15日、防府支部は新年会を兼ねた「手配りさん交流会」を行いました。参加者全員から近況報告や手配りを通じた経験談を出し合いました。「ひろばを配っていて配布先の方に会えるのがうれしい」、「配布先の組合員さんと対話し、元気でおられることを確認している…」という前向きな発言もありました。交流会ではそれぞれが持ち寄ったプレゼントを商品にビンゴゲームをしたり、紙コップ積み立てゲームをして春らしい楽しい集いになりました。集まった参加者は23人。持ち寄られた増資は12,000円。そしてなんとこの日のために吉本支部長自らが新規手配りを3人増やして来られました。

おしゃべりを楽しみながら 春の向島ウォーキング

3月27日、防府支部「しあわせます班」が向島運動公園のお花見ウォーキングを実施しました。天気は良かったのですが、桜はまだ2分咲きでちょっと残念でしたが、参加者10名が1周1.3kmのコースを2周しました。それぞれのペースで楽しくおしゃべりをしながらウォーキング。終わった後は各人が作って持参したお弁当を食べました。

華浦の班会の方も参加され、お互いの交流もでき、「久しぶりに外で食べる食事は美味しいね」と皆さんの笑顔で楽しそうでした。



子育てサロン「母と子の交流の場」

ピンクののぼり旗でお気付きの方もいらっしゃると思いますが、毎月第3火曜日13時～協立歯科で『子育てサロン』を開催しています。歯科衛生士と助産師が様々な相談にのりますが、子ども大好きに加藤先生もパペットを持って参加して下さいます。サロンなので相談のある方もない方もおしゃべりしながら交流の場として来ていただけると嬉しいです。

3月の参加者は2組(子どもさん4名)でした。お母さま、お2人とも協立歯科にかかっておられ、受付で案内されたのが参加のきっかけでした。子どもさん4人で終始にぎやかで笑い声の絶えない1時間でした。最期に「ガチャをどうぞ」と促すと3歳のお子さんは嬉しそうに歓声を上げていました。

ご近所やお知り合いの方にぜひお知らせください。(防府支部 山崎)



「3.12重税反対集会」にて健康チェックと

医療生協アピール、仲間ふやし目標達成!!



「3.13防府民商重税反対集会」は会場の関係で3月12日に行われました。毎年、健康チェックの要請があり、運営委員4名、支援部職員1名で参加。昨年の反省をふまえ、事前に役割分担と手順をしっかりとミーティングして臨み、特に健文会の説明と加入のお勧めに1名配置しました。

その結果2名の成果を上げ目標達成!

「ヤッター!!」と帰りはルンルン♪

【今回のイベントで学んだこと】



○目的と役割分担をはっきりさせる。

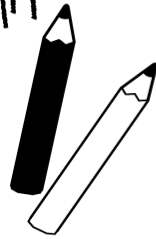
○来賓挨拶で健文会について&加入のお願いに続き、最近加入した組合員さんに共感を話してもらった
⇒Fさんは健文会の事を「命のとりで」と表現して下さいました。

○運営委員・支援部職員の5名で担当したため、加入の勧めをするのにゆっくりと時間を取り相手と向き合えました。加入された方のうち一人は以前、宇部の仕事で怪我をされた際に宇部協立病院にお世話になったとお話して下さいました。(防府支部 山崎)

1/30(金) 社保学校開催！参加者 60 名 ～4会場をつないで看取りの学習をしました～



友永看護副部長から…診療所での事例を紹介し、自宅で最期を迎えたい方を「他職種と協力して全力で支え、願いをかなえます」とのお話がありました。



タイムテーブル

- 映画「うちげでいきたい」視聴
- 最後の場所はどこにある
その人らしさと「選択」を巡る問い」松本翔子医師
- 最後の希望を叶える診療所
友永理香看護副部長
- グループ討論



宇部会場



山陽小野田会場



下関会場



山口会場

多目的室をメイン会場に 4 会場をオンラインでつないだ学習会。映画と学習会で問題提起を受けた後は、小グループに分かれてディスカッションをおこないました。

『人生の最期をどう迎えたいか』
『安心して看取りが出来るにはどうしたらいいか』

『医療生協としてできることは何か』など、自由に語り合いました。家族を看取った方、介護の最中の方、自分の最期を考える方、それぞれの思いを出し合い、話は尽きませんでした。

関心が高く、支部総会等でさらに学びを深める支部も出ています。

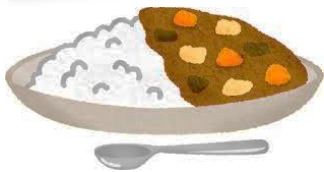
参加者の感想文から、社保委員会でのふりかえり

- このテーマについて、地域組合員に要求がたくさんあることを知った。健文会で看取りをやっていることを知らせていくことも必要。健文会では無料低額診療事業、無料法律相談など、いい取り組みをたくさんしていると思った。
- 共同(家族ではないが、家族に近いような緩やかなつながり)を拓げていくことが健文会の役割。看取りは、残された人たちの心の整理やこれからの生き方を見直すことにつながる。その人が生きた証を残す取り組みを考えていくことも必要。
- 看取りは健文会の存在を打ち出す方法のひとつとしてアピールできる。事業所の取り組みを地域に知ってもらうことは医療生協運動を拓げることにつながる。

みんなで看取りについて 学び、考えた — 岬支部 —

3/31、岬ふれあいセンターで「つくし月間」企画として「看取り学習会」を行い、21名の参加がありました。

最初に松本 Dr の学習動画を視聴し、つづけて友永看護副部長さんから事例を聞きました。グループワークでは2手に分かれて体験談や皆さんの日頃からの疑問などを話し合いました。なかには老後に不安を抱えておられる方もおられ、真剣にお話を聞きながら質問も多く出されました。次回、第2弾は「無料低額診療事業」の学習を継続することが決まり、さらに学びを深めます。



「恩田の明日をつくる会」 お花見&カレー日和

3/30、恩田3支部では、「お花見&カレーを食べよう会」で交流し、34名が参加しました。

恩田では恒例となっているお花見企画。当日も薄曇りのちょうど良い天候で、東見初街区公園に集まったみなさんは、桜を眺め（まだまだ先初めでしたが）、散策したり歌をうたって楽しみました。

偶然にもこぐま保育園園児の皆さんも会場に訪れ合流。みなさん、笑顔いっぱい、一段とにぎやかになりました。続けて岬ふれあいセンターに移動して有志で作ったカレーライスをいただきました。今回、みんなでカレーを食べることになったのは、去年の健康まつりで出店したカレーが大盛況で売り切れ、スタッフが食べられなかったということから決まったものです。会の最後は医療生協のことを知ってもらおう説明時間を設け、年度末ラストスパートに向けて4課題の協力を呼びかけました。みんなで「医療生協を大きく・・・」の思いを共有した集まりとなりました。



“春を呼ぶつどい”に大集結 下関支部

2月22日(日)、下関支部「春を呼ぶつどい」は会場いっぱいになる49名が参加(生協下関歯科職員も2名参加) 初めに山村専務の挨拶があり、つづけて支部活動の紹介や3/28上関原発を建てさせない山口大集会への参加をよびかけました。お待ちかねのお楽しみ交流会はうたごえ、手遊び、ビンゴゲーム、くじ引きとつづき、最後は「和み会」による民踊で会場が一つになり、めいっぱい楽しい企画になりました。最高齢93歳の参加者からの感想では、「楽しかった。来年も行けるかな?元気でいたら参加したい。医療生協で協力できることがあったら言ってほしい…」と大変励まされるものでした。この度の企画は主に運営委員が手分けして参加を呼びかけ、送迎もして、事前準備や当日の役割分担も綿密にして…まさに自分たちで作り上げた「つどい」は今年の下関支部に勢いをつけるものとなりました。



新しい仲間を誘って、医療生協の魅力を 知る「春のつどい」—厚南支部

厚南支部では医療生協を知ってもらう機会をつくろうと、3月14日(土)「春のつどい」を開催しました。「参加者が楽しい時間を過ごせて、かつ、医療生協の活動に関心を持つ」…この目的のために、運営委員会ですっかり準備して臨みました。オープニングは、藤山支部の兼重さんによる「うたごえ」。手つなぎ遊び歌「手と手と手と」で会場が一体になりました。続く「原ころばん体操班」のみなさんによる日本舞踊。優雅な舞いを堪能した後は、「綾小路きみまろ」さんの楽しいトークもありました。担当者からは「医療生協の活動紹介」。写真をたくさん使って、医療福祉生協のスローガン「健康をつくる、平和をつくる、いのち輝く社会をつくる」の内容を説明しました。最後はお楽しみビンゴ大会♪で大盛り上がり。近藤支部長代行から、4月に初めて開催するお試し班会「レクリエーションダンス」の紹介もありました。春のつどいでは、めったに顔を合わすことのない組合員さん同士の交流や、未組合員の参加もあり、これからの活動を拓げるためのきっかけ作りが出来ました。

